資料　1

第4部会

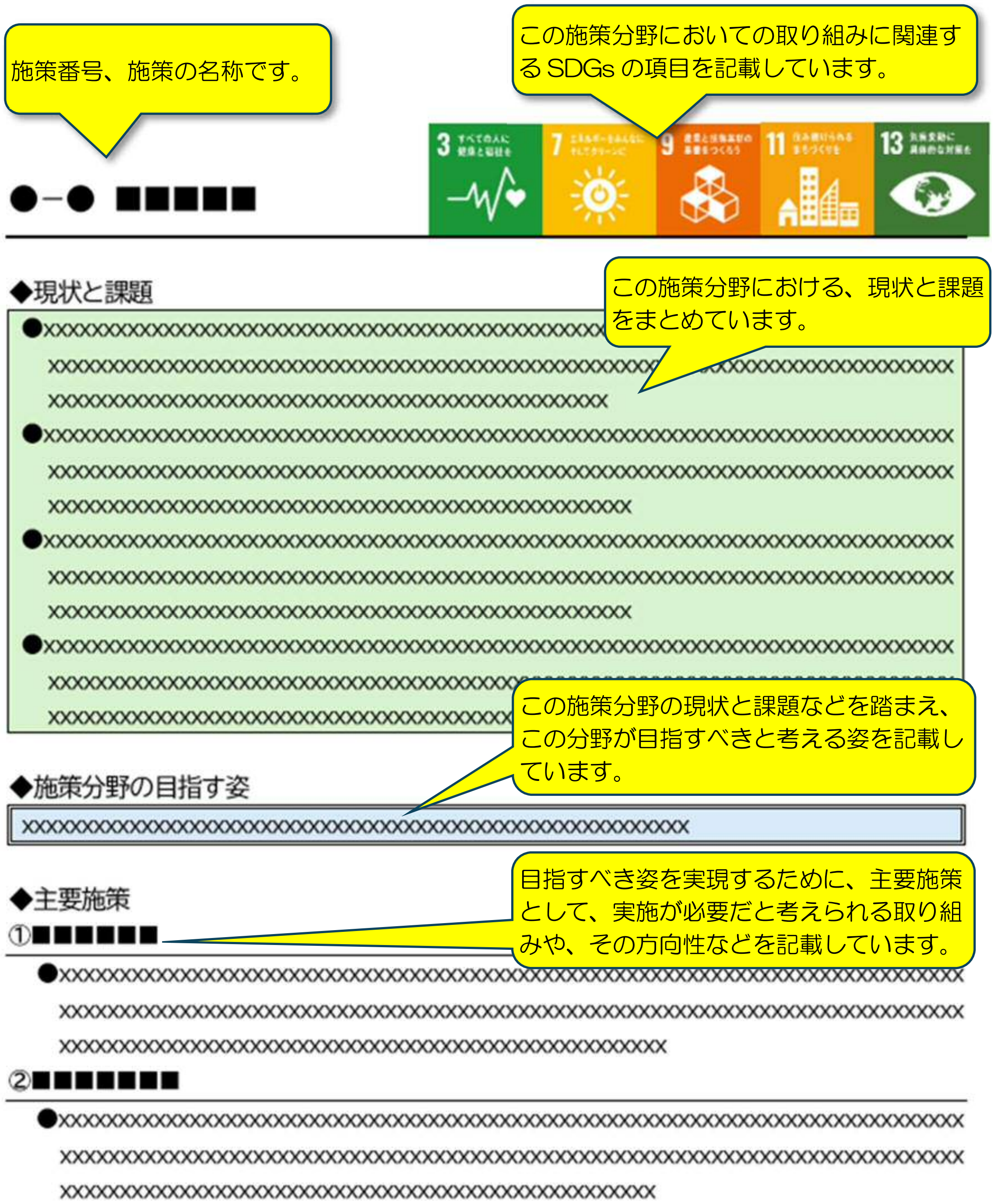
後期基本計画（案）

令和8年8月6日

■この資料は、第1回審議部会で配布した資料2（A3 版横）の右側を抽出した、後期基本計画（案）となります。
■第1回審議部会にていただいた意見を反映した部分などは、朱書きで溶け込み修正させていただいております。前回配付した資料2（A3版横）と比較しながらご確認ください。
■その他、誤記載等についても朱書きで修正しています。
■「◆目指す姿の達成状況を測る主な指標」について、現状値を 2025年度の数値に修正し、「中間値2026」の欄を削除したものになっています。
2025年度の現状値を踏まえた2031年度の目標値、数値設定の考え方となります。

■第7次尾鷲市総合計画後期基本計画(案)の見方

第7次尾鷲市総合計画後期基本計画(案)は、次の見本のように一つの分野ごとにまとめられており、分野ごとの現状と課題を基に、目指す姿やそれを実現するために行う主要施策・主要事業、目標を数値で表した指標や、分野において市民と力を合わせるためにどのようなことができるかなどの考え方をまとめています。



基本計画の期間内に実施を予定する主要な事業の名前とその事業内容を記載しています。

記載している事業が、総合戦略や国土強靭化地域計画に関連するものかを示しています。

◆主要事業

事業名	事業内容	備考
■■■■■■■■	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	戦略
■■■■■■■■	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	国強

◆目指す姿の達成状況を測る主な指標

指標名	指標の説明と数値設定の考え方	現状値 2025		目標値 2031
■■■■■■	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	■■	➡	■■
■■■■■■	xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxx	■■■■	➡	■■■■

分野における目指す姿の達成度として、指標名、指標の説明と数値設定の考え方、２０２５年度の現状値と、２０３１年度の目標値を記載しています。

分野の目指す姿を達成するために、行政と市民・地域・団体などが、どのようなことで力を合わせて、取り組みができるかなどの考え方を記載しています。

◆市民との協働のために

行政の役割	市民･地域･団体などの役割
●xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	●xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx ●xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx

◆関連計画

●xxxxxxxxxxxxxxxxxx

主要施策や主要事業、考え方などの基になっている、関連計画を記載しています。



4－1 学校教育

◆現状と課題

●グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、諸課題は高度化・複雑化しています。こうした中で、社会の変化に対応できる力を育む教育が求められており、これを効果的に進めるためには教育環境の整備が欠かせません。本市全体として、望ましい学習環境を確保しながら、教育の質の維持・向上を図ることを検討していきます。

●21 世紀を生き抜くための力を育成するため、これからの学校は、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力・活用力等の育成や主体的に学びに向かう力、人間性の涵養等を重視する必要があります。これらは様々な言語活動や協働的な学習活動等を通じて効果的に育まれることに留意する必要があります。

●新たな学びを支える教員の育成や、学び続ける教員の意識、姿勢の構築が求められています。

●いじめ・不登校等への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用等、諸課題への対応が求められています。

●学校・家庭・地域が連携し、学ぶことの意義と価値を再認識し共有していく必要があります。

◆施策分野の目指す姿

一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、次代の尾鷲を担う子どもを育みます。

◆主要施策

①教育・指導内容の充実

●主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進めるとともに、ICTを有効に活用しながら、子どもたちが、学ぶ楽しさやわかる喜びを実感できるよう、一人ひとりの学習における実態と課題を各学校で把握し、理解と定着を図る取り組みを推進します。また、一人ひとりのつまずきに応じ、家庭学習や補充学習等の充実を図ります。

●いじめの未然防止、不登校等への対応、安全・安心な学びの場づくりの充実を図ります。また、特別支援教育においては、一人ひとりに応じた指導・支援を見直し、保・小・中の連携を充実させ、切れ目のない支援体制の充実等に努めます。

②地域に開かれた学校づくり

●地域の自然や文化、産業を通じて学んだり、地域の人々から学んだりする取り組み等、子どもたちが学ぶことと自己の将来との繋がりを見通す地域と連携したキャリア教育を推進します。

●地域や専門(行政)機関と連携した避難訓練、防災学習等、子どもたちが地震や津波、風水害等の自然災害に対して自分の命を守り、自ら判断して行動できるよう、防災教育を推進します。

●地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)を進めるとともに、学校自己評価及び保護者・地域の方々などによる学校関係者評価を踏まえた改善活動を推進します。

③学校給食の充実

●令和 5 年度より稼働した尾鷲市学校給食センターを拠点に、市内小学校 3 校・中学校 1 校へ米飯を

含む完全給食を安定的に提供しています。後期計画ではセンターだけでなく自校給食においても、これまで築いてきた安定供給体制をさらに発展させ、「安全・安心」「栄養と健康」「地産地消」「食育」を４つの柱として、子どもたちの心身の健やかな成長を支える学校給食を推進します。

④学校施設の整備・維持管理

●公共施設等総合管理計画や学校施設保全計画に基づき、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、コミュニティ・スクールとも連携し拠点形成を目指した整備を実施します。

◆主要事業

事業名	事業内容	備考
ふるさと教育支援事業	児童・生徒に対して社会見学や地域学習を行うとともに、生徒に対して職場体験、郷土料理体験を実施することにより、尾鷲に対する愛着を持たせます。	戦略
子どもの学びと育ち育成支援事業	QU調査を活用し、「自立する力」「共に生きる力」を育成します。また図書館ボランティアを活用し、学校図書館の充実を図ります。	
ALT事業	ALTとともに学習することにより、児童生徒が他国の言語（英語）や文化に対して興味・関心等を持ち、英語教育の充実を図ります。	
学校給食事業	学校に在籍する児童生徒等に安全・安心な給食を提供するため、検査や調理器具の更新、害虫駆除等の実施により、適切な衛生状態を保持するとともに、地元産材を活用した食育を推進します。	国強
学校施設の適切な維持管理、更新を行います。	学校施設の適切な維持管理、更新を行います。	国強
「尾鷲育」事業	児童に対して、地域の自然や人材を活かした「体験活動」を実施し、地域の魅力を再発見し、他者とかかわりながら自己の生き方を考え、学べる「よさ」を実感させます。	

◆目指す姿の達成状況を測る主な指標

指標名	指標の説明と数値設定の考え方	現状値 2025		目標値 2031
学校生活満足度	児童生徒の学校生活のアンケートにおいて、学校の生活に満足しているかを表した数値です。現状値（2025）に至る値のように、より満足度の向上を図るため、努力目標として、5 年ごとに 1%の上昇を目指します。	93%	➡	94%
学校教育の満足度	「尾鷲市まちづくりに関するアンケート」における「学校教育の充実」に関する満足度を点数化したものです。現状値（2025）に至る値のように、より満足度の向上を図るため、努力目標として、5 年ごとに 0.1 ポイントの上昇を目指します。	2.87 ポイント	➡	3.00 ポイント

活き活きと学び、活動を続けられる環境づくり

◆市民との協働のために

行政の役割	市民・地域・団体などの役割
●学校は子どもたちの学びの場のみならず、地域コミュニティの場になりうるため、各学校がコミュニティ・スクールとしての地域との連携を深めていきます。	●職場体験学習、ふるさと産業体験活動などを通して学校とのネットワークを構築し、学びと育ちを支え、交流する活動を推進します。

◆関連計画

●尾鷲市教育大綱
●尾鷲市教育ビジョン
●尾鷲市いじめ防止基本方針
●尾鷲市公共施設等総合管理計画
●尾鷲市公共施設個別計画
●学校施設保全計画

活き活きと学び、活動を続けられる環境づくり

4－2 生涯教育



↑3と17を追加

◆現状と課題

●市民一人ひとりが個性と能力を伸ばし、充実した人生が送れるよう、子どもから高齢者まで幅広い世代の安全・安心な居場所の整備と、それぞれのニーズに対応した多様な学習機会の提供が必要です。また、学習活動によって得た知識や成果を、地域社会などで活かせる仕組みづくりが必要です。

●高度情報化の急速な進展により、多様な情報や仮想体験が身近に溢れる現代社会において、子どもたちの健全な成長のためには、実体験を通じた多様な学びと交流機会の提供、安全・安心な居場所や地域全体で子どもたちを見守り育てる体制が必要です。

●社会教育施設が老朽化し、不具合の解消や、より快適な学習環境の提供が求められています。中央公民館や図書館については体育文化会館との耐震・長寿命化、複合化に伴い環境改善を進めるとともに、その他の施設においても適切な管理運営が必要です。

◆施策分野の目指す姿

多様な学びや体験の機会、安全・安心な居場所等が提供され、一人ひとりがライフステージに応じて自発的に学び、楽しむとともに、得られた知識や成果を活かすことができるまちを目指します。

◆主要施策

①生涯教育・生涯学習活動の推進

●生涯を通じて自発的・主体的に学習できるよう、多様な学習機会を提供するとともに、市民サークル活動を支援します。また、学習活動による知識や成果を活かして、コミュニティ活動などに取り組むことができる環境づくりや、生涯学習活動を支える人材の養成を推進します。

●子どもから高齢者までを対象として、中央公民館や天文科学館での各種講座や周辺市街地での出前講座等を実施することにより、生涯学習への興味・関心を促す機会をより広く市民に提供します。

●新たな図書館を「市民のリビングルーム」として子どもから高齢者までの居場所づくりを充実させながら、「知識や情報の拠点」として、自主的に学習活動が行える図書館サービスの充実を図ります。また、乳幼児から高齢者までが本に親しみ楽しむことができる図書の充実と環境づくりを進めるとともに、学校等関係機関と連携し、子どもたちの豊かな心を育む読書活動を推進します。

②子どもや親子を対象とした体験学習の推進

●豊かな自然や文化、食を活かしたさまざまな体験学習を実施します。また、関係団体等と連携し、地域が一体となって子どもを育み・見守る環境づくりや安全・安心な居場所づくりを推進します。

③社会教育施設の整備

●社会教育施設については、市民の生涯学習活動を支える中核施設として、公共施設個別計画に基づき適切に整備を進め、快適な学習環境を提供します。

●中央公民館及び体育文化会館の耐震・長寿命化を行うとともに、図書館機能の移転・拡充や、こどものリビングルームの整備等、子どもから高齢者までの安全・安心な居場所づくりを推進し、複合的な機能を有する施設整備を進めます。

活き活きと学び、活動を続けられる環境づくり

◆主要事業

事業名	事業内容	備考
公民館事業	地域の特色を活かした講座や市民のニーズや実生活に即した教室等を開催するなど多様な学習機会を提供し、市民の教養の向上、健康増進等を図ります。また、中央公民館の適切な維持管理を行います。	国強
図書館管理運営事業	利用者の教養の涵養や学習に役立つ図書資料を収集し、市民の主体的な学びや文化活動・余暇活動を支える基盤の充実を図るとともに、関係機関や団体等と連携し、子どもの読書活動を推進します。	
放課後子ども教室推進事業	週末や放課後等に子どもが安全・安心に過ごせる居場所と住民参画や地域資源を活用した体験・活動を提供し、子どもたちの豊かな心を育てるとともに地域で子どもを見守り育む体制を推進します。	戦略
子育てを支えあう環境づくり事業	子育て支援団体や企業等と連携して子どもや子育て世帯を対象としたイベントを行い、地域が一体となって子どもを見守り育てる「子育てのしやすさ」が実感できる地域づくりを推進します。	戦略
天文科学館管理運営事業	通常の観望会や天文イベントに伴う特別観望会、講座・教室・イベント等の実施と情報発信、小学校への出前学習会等により、天文や自然科学に関する市民の主体的な学びと文化活動の向上を図ります。	
少年センター事業	次代を担う青少年が、心身とも健やかに成長し豊かな人間性を身に付けられるよう、関係機関・団体・地域社会と連携して青少年の健全育成と非行防止に努めます。	国強
社会教育施設整備事業	耐震・長寿命化工事により、閉館中の体育文化会館の再開と図書館の移転拡充、中央公民館へのこどものリビングルーム整備を行い、施設環境の改善と市民の安全・安心な居場所づくりを進めます。	

◆目指す姿の達成状況を測る主な指標

指標名	指標の説明と数値設定の考え方	現状値 2025		目標値 2031
生涯教育の満足度	「尾鷲市まちづくりに関するアンケート」における「生涯教育の推進」に関する満足度を点数化したものです。より満足度の向上を図るため、努力目標として、2031 年度までに 0.19 ポイントの上昇を目指します。	2.81 ポイント	➡	3.00 ポイント

◆市民との協働のために

行政の役割	市民・地域・団体などの役割
●生涯学習の推進には拠点施設や学習環境、関係団体や学校等と連携した取り組み等が必要であり、適切に施設や環境を整備するとともに地域に学びや交流の輪を広げる仕組みを整えます。	●主体的に学習や体験活動を行い、習得した知識や教養、技能や経験などを積極的に家庭や地域に活かせるよう取り組みます。

◆関連計画

●尾鷲市教育大綱 ●尾鷲市教育ビジョン ●第四次尾鷲市子どもの読書活動推進計画	●尾鷲市公共施設等総合管理計画 ●尾鷲市公共施設個別計画 ●第3期尾鷲市子ども・子育て支援事業計画・母子保健計画



4－3 スポーツ

◆現状と課題

●少子高齢化に伴う人口減少、価値観やライフスタイルの多様化等に伴い、市民のスポーツとの関わり方が変化するなかスポーツ推進を図るためには、従来から地域のスポーツ活動をけん引しているスポーツ団体との連携・支援を継続するとともに、個人や広域的に取り組む活動との連携・支援や、広く市民がスポーツに触れる機会の創出・情報発信等の取り組みの充実が必要です。

●子どもたちのスポーツ活動を推進するためには、子どもや保護者の多様な意向を尊重し、競技することを望む子どもたちのスポーツ環境の維持・存続を図るとともに、多くの子どもたちに体験会等を通じてスポーツに触れる機会を提供するなど、スポーツの魅力を伝えることが大切です。

●誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる暮らしを支えるため、スポーツ団体やスポーツクラブを支援するとともに、快適にスポーツ施設を利用できる環境整備や、気軽にスポーツに触れる機会の充実が大切です。

●多様なスポーツ活動を通じて、競技力の向上や健康づくり、体力づくりを推進するとともに、活動を「する」「みる」「ささえる」の立場で市民が交流できる場と捉え、機会の充実と市民参画の促進を図ることが大切です。

●快適なスポーツ環境の整備を進めるとともに、既存のスポーツ施設や新たに整備された施設、更には更新が進む施設や「おわせSEAモデル構想」におけるスポーツ振興ゾーンなどを活用し、近隣市町との連携による大会開催やスポーツイベントの実施等を通じた交流促進、合宿誘致等を図り、地域活性化に繋げることが大切です。

◆施策分野の目指す姿

健全な心身を育み活力を生むスポーツを推進し、市民の健康で心豊かな暮らしづくりとスポーツのある元気なまちを目指します。

◆主要施策

①生涯スポーツの推進

●市民一人ひとりがライフステージに応じて多様なスポーツに親しめるよう、地域・学校・スポーツ団体及び行政等が連携してスポーツ活動への参画機会の拡充を図るとともに、スポーツを通じた健康増進や体力づくり、自己実現を推進し、人生の充実感の向上を図ります。

②競技スポーツの振興

●市民のスポーツに対する関心や意欲を喚起し、競技人口の拡大を図るとともに、競技団体等と連携し、指導者や競技者を支える人材の育成を図るなど指導体制づくりを推進します。また、併せて、優れた競技者を支援・顕彰する取り組みの充実を図ります。

③スポーツ環境づくり

●スポーツ施設の適切な維持管理や更新等を計画的に進めるとともに、近隣市町と連携し、施設の相互利用を行いながら、スポーツ団体や総合型地域スポーツクラブ等の育成を図り、スポーツのある豊かな暮らしを支えます。

④スポーツを通した交流の促進

●スポーツ活動を通じて、年齢や性別、国籍や障がいの有無などに関わらず、多様な人びとが交流を深めることを目指し、市民の誰もが気軽に参加できるインクルーシブなスポーツの普及を図ります。

●既存のスポーツ施設を活用するとともに、「おわせSEAモデル構想」におけるスポーツ振興ゾーンの活用や近隣市町との連携を図りながら、スポーツ振興を通じた新しい人の流れを創出し、集客交流人口の拡大や地域活性化を図ります。

◆主要事業

事業名	事業内容	備考
スポーツ振興事業	スポーツ教室や体験会等、市民がスポーツに触れる機会の提供と情報発信により、誰もが気軽に楽しめるインクルーシブなスポーツの普及促進を図るとともに、競技スポーツにおいては、専門的な知識を持った指導者等の確保・育成を目指すなど支援の充実を図ります。また、各学校やスポーツ団体、スポーツ推進委員等と連携し、競技力向上の取り組みやスポーツを行う機会の確保、大会開催等による交流の場づくりを推進します。	戦略
体育施設維持管理運営事業	体育施設の適切な維持管理・更新を行い、快適で効率的なスポーツ環境づくりに努めるとともに、学校開放の充実や近隣市町と連携した施設の相互利用を図ります。	国強

◆目指す姿の達成状況を測る主な指標

指標名	指標の説明と数値設定の考え方	現状値 2025		目標値 2031
生涯スポーツの満足度	「尾鷲市まちづくりに関するアンケート」における「生涯スポーツの推進」に関する満足度を点数化したものです。より満足度の向上を図るため、努力目標として、2031 年度までに 0.17 ポイントの上昇を目指します。	2.83 ポイント	➡	3.00 ポイント

◆市民との協働のために

行政の役割	市民・地域・団体などの役割
●競技力の向上、インクルーシブなスポーツの普及、スポーツを通じた集客交流の促進と地域活性化を図る上で、指導者や協力スタッフは必要不可欠であることから、多様な団体等と広域的な連携を図り、スポーツ推進に取り組みます。	●地域全体で取り組みを推進できる体制づくりや関係づくりを進めるとともに、市民一人ひとりが、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など、それぞれの関心に応じてスポーツと関わります。

◆関連計画

●尾鷲市教育大綱	●尾鷲市公共施設等総合管理計画
●尾鷲市教育ビジョン	●尾鷲市公共施設個別計画
●第2次尾鷲市スポーツ推進計画	●第3期尾鷲市子ども・子育て支援事業計画・母子保健計画



4－4 郷土文化･歴史

↑17を追加

◆現状と課題

●世界遺産である熊野古道(熊野参詣道伊勢路)をはじめ、長い歴史の中で培われてきた貴重な文化財が多く存在することから、これらを適切に保全して次世代に継承するとともに、郷土の歴史や自然･文化に係る資料を適切に保存し、地域資源として持続可能な取り組みで周知･活用することで、市民の郷土への愛着や誇りの涵養と、息の長い集客交流につなげることが大切です。

●文化･芸術は豊かな人間性を育み、人生に生きがいや活力を与える重要なものです。そのため、市民の活動を支援するとともに、多くの世代がより身近に文化･芸術を感じることができる機会を創出することが大切です。

◆施策分野の目指す姿

先人から受け継がれてきた貴重な歴史文化や文化財の保全･活用･継承と、市民の文化･芸術活動の支援を通じて、ふるさとへの愛着と誇りを感じられるまちを目指します。

◆主要施策

①地域の歴史文化の継承

●郷土室収蔵資料や市内に所在する文化財等の調査･研究と適切な保全･管理を行うとともに、小中学校等における郷土学習や一般向け講座･企画展等を通じて、郷土の歴史や文化、文化財等を広く周知し、次世代への継承に努めます。また、関係機関と連携し、これらの地域資源の活用を図るなど持続可能な集客交流の取り組みに繋げます。

②文化･芸術活動の支援

●市民による自主的な活動を支援するとともに、公民館講座の開催や、市民文化会館、関係団体等との連携により、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民に対して質の高い文化･芸術にふれる機会の創出と情報発信を行います。

③文化施設の有効活用

●市民文化会館は、文化芸術振興の拠点として、気軽に立ち寄れる施設、発表会や展示会等を通じて集える施設、イベントを通じて人と繋がることができる施設を目指し、市や関係機関と連携して、幅広い世代に文化鑑賞の機会を創出します。

おわせの歴史・文化を伝え、地域を担う人材の育成

◆主要事業

事業名	事業内容	備考
一般保護事業	世界遺産である熊野古道をはじめとする文化財の調査やパトロール点検等を実施し、適切な維持・保全と情報発信・活用等を図ります。	戦略
郷土室保存運営事業	収蔵資料や新規寄贈資料を紹介する企画展示や市民講座等を行い、資料の活用を図るとともに郷土文化の伝承を行います。	戦略
文化会館管理運営事業	尾鷲市民文化会館の施設管理と機能維持に必要な改修、更新を行うとともに、適切な管理運営を行います。	国強
公民館事業	中央公民館において郷土文化や歴史、文化芸術等に関する市民講座等を開催し、学習機会を提供します。	戦略
文化振興事業	子どもから高齢者まで幅広い世代の市民に対して、質の高い文化・芸術にふれる機会の創出と情報発信を行います。	

◆目指す姿の達成状況を測る主な指標

指標名	指標の説明と数値設定の考え方	現状値 2025		目標値 2031
郷土文化・歴史の満足度	「尾鷲市まちづくりに関するアンケート」における「郷土文化・歴史の保存と継承」に関する満足度を点数化したものです。より満足度の向上を図るため、努力目標として、2031 年度までに 0.04 ポイントの上昇を目指します。	2.96 ポイント	➡	3.00 ポイント

◆市民との協働のために

行政の役割	市民・地域・団体などの役割
●郷土の歴史文化や多様な文化芸術などに、触れる機会、学ぶ機会、発表する機会の充実を図り、市民の主体的な活動の育成・支援を図ります。	●各分野に精通した団体や専門知識を持つ市民の協力を得て、文化芸術活動の振興や郷土文化・文化財等の継承を進めます。

◆関連計画

●尾鷲市教育大綱 ●尾鷲市教育ビジョン ●尾鷲市公共施設等総合管理計画	●尾鷲市公共施設個別計画 ●第3期尾鷲市子ども・子育て支援事業計画・母子保健計画

4－5 国際交流･多文化共生



◆現状と課題

●1968 年にカナダのブリティッシュ･コロンビア州プリンス･ルパート市と姉妹都市提携しており、2018 年には、姉妹都市提携 50 周年を記念して、プリンス･ルパート市へ絵画を寄贈するなどの事業を実施していますが、姉妹都市提携当時から行われていた中学生･高校生の相互派遣による交流については、1999 年以降、継続的な交流が行われていません。また、2007 年に中国大連市金州区と友好都市協定を提携していますが、継続的な相互交流が行われておらず、協定の見直しについて検討する必要があります。

●国際交流や都市間交流を促進するため、姉妹都市･友好協力都市をはじめとする海外都市と交流する団体への補助など、民間交流の支援を行っていますが、更なる交流促進のためには、市民に対して国際交流機会を数多く提供し、多文化理解やグローバル社会に対応できる人材育成を行っていくことが必要です。

●新型コロナウイルス感染症の終息により、本市への外国人観光客数の増加が見込まれ観光情報の多言語化を推進する必要がありますが、一部の外国人による迷惑行為への対応など、市内における受け入れ環境の整備が課題となっています。

◆施策分野の目指す姿

多文化が共生し、多様性を認め合い、国際感覚豊かな地域づくり･人づくりが行われているまちを目指します。

◆主要施策

①国際交流の推進

●多面的な国際交流の展開を図るため、引き続き国際交流協会の活動を支援します。

●国際交流協会等と連携し、様々な国や地域との交流を促進するため、Web会議システムなども活用しながら異国の文化･言語に触れる機会を創出し、多様な文化や価値観の理解を深めます。

●新型コロナウイルス感染症終息後の外国人観光需要回復を見据え、市内主要施設の多言語標記や、観光情報の多言語化を推進します。

②多文化共生の推進

●国際交流協会等と連携し、公共施設の外国語表記や行政情報などに関する外国語パンフレットの設置、ホームページの多言語標記や日本語交流サロンの開催など、就労者を含む外国人住民が安心して快適に生活できるコミュニティなどの環境の構築を進めます。

③国際理解を深める教育の充実

●各学校にALTや英語に堪能な人材を派遣し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成します。

●ALTとのふれあいや体験活動等を通じて、外国語への関心を高め、異文化に対する理解を促進します。

おわせの歴史・文化を伝え、地域を担う人材の育成

◆主要事業

事業名	事業内容	備考
国際交流事業	尾鷲市国際交流協会と連携することで、市内における国際交流活動を促進させ、国際感覚豊かな地域づくり・人づくりを行います。	
多文化共生事業	国際交流協会と連携し、多文化共生に対する理解を向上させるとともに、就労者を含む外国人住民が安心して快適に生活できる環境を構築するための取り組みを推進します。	

◆目指す姿の達成状況を測る主な指標

指標名	指標の説明と数値設定の考え方	現状値 2025		目標値 2031
国際交流協会の会員数	尾鷲市国際交流協会の正会員及び家族会員の数であり、国際交流に関わる人材を確保・増加させるために指標として設定しており、2025 年度実績を基に、年間 2 人程度の増加を目標とします。	21 人	➡	30 人
国際交流イベント等の開催数	国際交流に関するイベント等の年間開催数であり、多文化に触れる機会を積極的に創出するための指標として設定し、年６回の開催を目標とします。	４回	➡	６回
国際交流イベント等の参加者数	国際交流に関するイベントへの市民の参加者数であり、これを増加させることによって、市民が積極的に国際交流に触れることを目指して指標を設定し、イベントの回数や内容を充実させ、年 250 人の参加を目標とします。	107 人	➡	250 人
他部署・団体との事業連携数	国際交流・多文化共生事業の推進に関する他部署や他団体との事業連携数を指標として設定しており、累計５回の実施を目標とします。	0回	➡	５回
国際交流・多文化共生の満足度	「尾鷲市まちづくりに関するアンケート」における「国際交流・多文化共生の推進」に関する満足度を点数化したものです。各事業の推進により、満足度 3.00 を上回ることを目標として、5 年ごとに約 0.2 ポイントの上昇を目指します。	2.81 ポイント	➡	3.00 ポイント

◆市民との協働のために

行政の役割	市民・地域・団体などの役割
●姉妹都市・友好協力都市をはじめとする、様々な国や地域との交流を深めるため、積極的な情報共有に努め、市民・団体単位の交流を支援します。	●多文化共生の意識向上のため、国際交流のイベントや活動に参加して、外国の文化や言語への理解を深めます。

◆関連計画